

平成26年3月26日

在留邦人及びインドを旅行される皆様

在ムンバイ日本国総領事館

宝石詐欺等の被害に関する注意喚起

最近、ゴア州内において、クレジットカードを利用した宝石詐欺により、日本人旅行者が多額の金銭をだまし取られる事案が発生しました。

概要は以下のとおりです。

1. 事案の概要

- (1) 2月中旬、ゴア州を観光していた邦人旅行者3人に対し、宝石商を名乗る複数のインド人男性が巧みな日本語で、「日本で宝石の展示会をやるので手伝ってほしい。貴金属の国外持ち出しは厳しいので、あなたたちに国際郵便で宝石を日本まで送ってほしい。」と持ちかけた。
- (2) 旅行者らが了承し荷物を送付したところ、税関職員と名乗る人物から連絡があり送付目的について聴取した。その後インド人男性らから「最近税関の検査が厳しくなり、今回も密輸ではないかと疑われている。実際に宝石を買った事実を証明しなくてはならない。君たちのクレジットカードで貴金属を買って領収書を準備してほしい。」と言われ、3人で合計数百万円相当の金を購入させられた。
- (3) その後男性らから、「弁護士が一旦帰国した方がいいと言っている。チケットは用意した。」と言われ帰国した。その際、「仲間の一人が逮捕された。イミグレーションで共犯だと疑われないよう領収書等は廃棄したほうがいい。」とも言われ書類を破棄し帰国した。
- (4) 帰国後一連の事態が全て虚偽であったと気づいた。

2. 留意事項

この他にも、「旅先で知り合った人物にガイドしてやるといわれた先で多額の現金を要求された。」「飲食物を勧められ意識がなくなった後、所持品がなくなっていた。」等の被害も当館宛て報告されています。

つきましてはこのような被害に遭わないよう、以下の事項に留意してください。

- どんなに親切そうに見えたり、親しげに誘われたりしても、見知らぬ人物の言葉を安易に信用せず、また安易について行かない。特に、タクシーやリクシャー等と一緒に移動したり、安易に見知らぬ者の家についていたりすることは絶対に

避ける。

- 散策する際は、できる限り必要最小限の現金のみを持ち歩き、クレジットカード等貴重品類は安全な場所に保管しておく。
- 見知らぬ人物からビスケット、コーラ、コーヒー等の飲食物を勧められても絶対に口にしない。

3. 多くの場合、当初から節度ある毅然とした態度を示すことで事件を未然に防ぐことができます。また、万一、被害に遭った場合には、早急に警察に被害届を提出するとともに、総領事館にも御連絡ください。

在ムンバイ総領事館

住所：No1. M. L. Dahanukar Marg, Cumballa Hill, Mumbai Maharashtra

電話：（市外局番022）2351－7101

国外からは（国番号91）22-2351-7101

FAX：（市外局番022）2351－7120

国外からは（国番号91）22-2351-7120

ホームページ <http://www.mumbai.in.emb-japan.go.jp>